

## 事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	スポーツ振興事業	コード	113102
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 小口 康生
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	スポーツ振興事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	市民が気軽にスポーツに親しむ機会・場所を設け、市民ひとり1スポーツの普及を図る。また、スポーツ大会や教室等を開催し、競技力の向上を図る。	
目的	対象者	市民
	意 図	市民スポーツの振興を図る。

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
1	<p>スポーツ教室等            スポーツ教室（5月～3月、149回、2,621人）            おかや小学生体育塾（5月～12月、40回、595人）            ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室（11月～2月、21回、309人）</p> <p>2 おかやファミリースポーツプログラム            スポーツイベント（6月～2月、4回、155人）</p> <p>3 スポーツ大会            岡谷市、市教育委員会主催大会57大会 県エースドッジボール協会主催3大会</p> <p>4 かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業            小学校1・2年生 26クラス 各クラス年6回派遣            小学校7校の全教員等を対象とした指導者講習会を1回実施</p>	
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会及びスポーツ教室への参加者が減少している傾向があるため、岡谷市体育協会及び各種競技団体等と連携し、競技者等のスポーツニーズ等を把握するなかで、参加者の増加に向けた取り組みを行った。</li> <li>スポーツ教室は定員、講師人数の見直しを行なった。</li> </ul>	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室開催数			単位	回
	実績値	215	216	214	
	*指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室開催数			
② 成果指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室等の参加延人数			単位	人
	目標値	5,662	4,600	4,059	4,059
	実績値	4,059	3,864	3,680	
	達成度	71.7%	84.0%	90.7%	
	*指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室に参加した人数			
*目標値の設定方法の説明	過去三年間における実績の最大値				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	10,944,211	10,219,694	9,844,112	10,995,000
経常経費	10,637,511	10,169,694	9,844,112	10,267,000
臨時的経費	306,700	50,000	0	728,000
* 臨時的経費の説明	H31第2次岡谷市スポーツ推進計画策定に伴う経費及び天皇賜杯全日本軟式野球大会負担金			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	18,000,000	18,000,000	17,200,000	17,200,000
正規職員の人数(人)	2.25	2.25	2.15	2.15
③ 合計コスト(①+②)	28,944,211	28,219,694	27,044,112	28,195,000
前年度比		97.5%	95.8%	104.3%
財源				
一般財源	27,991,411	27,315,194	26,197,812	26,953,000
内訳				
特定財源	952,800	904,500	846,300	1,242,000
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	133,198	130,415	126,374	
前年度比		97.9%	96.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
スポーツ振興事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,081,000	1,081,000	1,081,000	1,081,000
19市体育担当課長及び体育担当主任会議出席負担金	件数	1	0	0	0
	金額	2,000	0	0	0
北信越国体バドミントン協議会負担金	件数	1	0	0	0
	金額	250,000	0	0	0
北信越中学校総合競技大会バスケボール負担金	件数	0	1	0	0
	金額	0	50,000	0	0
天皇賜杯全日本軟式野球大会負担金	件数				1
	金額				200,000
アの①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,333,000	1,131,000	1,081,000	1,281,000
	割合	12.18%	11.07%	10.98%	11.65%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 95.2%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 90.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 少子化、高齢化等の社会情勢の変化に伴い、スポーツに対する市民のニーズも多様化してきている。実情に即したスポーツ推進の取り組みが必要である。	
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 参加者へのアンケート調査等を実施し、スポーツニーズを把握するなかで、開催内容、時期等を岡谷市体育協会及び各種競技団体等と連携し取り組む。	
改善方法		
改善開始時期		

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---